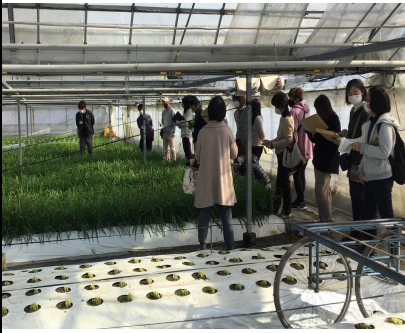


普及活動情勢報告（令和3年12月分）

高吾農業改良普及所

ニラ女性農業者が先進地事例を学ぶ！



12月3日に佐川町内のニラ女性農業者10名が、四万十町ニラ農家2戸の作付け体系や栽培状況等について現地で学びました。
普及所からは、車中にて視察目的の確認や栽培管理上の注意として生産性を高める苗の育苗、株養成の必要性について説明しました。
参加者は、ニラ農家の育苗期間や刈り取りまでの養成期間等の話を熱心に聞き、「灌水の仕方を教えてほしい」「どのように温度管理を気をつけているか」といった質問がありました。また、生産性の高いニラ苗を作ることの重要性が再確認できたという声がありました。
今後も、普及所はニラ女性農業者に対して、栽培や経営管理に対する勉強会を実施していきます。

露地オクラで土着天敵を利用したIPMに取り組もう！



12月9日にJA日高支所で日高生産部会出荷反省会が開催され、農家7名が参加しました。
部会ではアブラムシ類やアザミウマ類の被害が問題になっています。普及所ではアブラムシ類の天敵を誘引するソルゴー障壁を利用した土着天敵の活用成果について報告を行いました。
農家からは「アブラムシ類やアザミウマ類の発生が抑えられて良かった」「殺虫剤の使用回数を減らすことができた」といった声があがっており、土着天敵を使用したIPM技術について関心が高まっています。
今後も、普及所は関係機関と連携してオクラ栽培におけるIPMへの取り組みについて支援していきます。

人・農地プラン実質化に関する勉強会を開催しました！



12月13日に高吾農業改良普及所で、「人・農地プラン実質化に関する勉強会」を開催し、管内4町村の関係職員ら17名が参加しました。中土佐町職員を講師に迎え、中土佐町での人・農地プラン実質化の取り組みを説明後、意見交換を行いました。
参加者からは、集落座談会に向けての準備や、座談会への効果的な呼びかけ方法、用意した資料、座談会の進め方等について質問がありました。
今後も、普及所は関係機関と連携して地域の農地を守る取り組みを支援していきます。

ミシマサイコの栽培技術講習会を行いました。



11月24日越知町民会館でヒューマンライフ土佐の「柴胡生産者説明会」が開催され、役員及び生産者30名が参加しました。

普及所からは今年度実施した種子発芽改善実証ほの結果、各栽培ほ場での生育状況、生育中に問題になっている雑草の対策について説明を行いました。

本年度の栽培では種子の配布前低温処理や播種時期を遅らせるなどの対策が実施され、発芽不良の問題は生じていませんが、質疑では更に有効な播種技術の研究や、除草方法改善の取り組みの要望がありました。

普及所は、今後もヒューマンライフ土佐や関係機関と連携して技術の改善を図っていきます。

仁淀川夏秋トマト生産部会の反省会が開催されました。



12月14日、JA高知県吾川支所において仁淀川夏秋トマト生産部会の反省会が開かれ、高糖度トマトの生産者5名が参加しました。

JAからは今作の出荷・販売の実績と共に、秀品率が去年より更に上がったことが報告されました。普及所からは次作に向けて、栽培指針をもとに、ハチ放飼前のサビダニ防除の徹底や今作問題となったホウ素欠乏対策について説明を行いました。生産者からは微量要素資材について「植え穴処理でも構わないか」「肥料によっては散布しづらいが、良い施用方法はあるか」などといった声が聞かれました。

普及所は、来年度の栽培に向けて、安定した品質で栽培できるように支援していきます。